

## 議事録（議事要旨）〔第3回委員会〕

1. 日時：平成27年8月26日（水）16：30～18：30
2. 場所：JSC本部事務所 特別会議室
3. 議題：（1）新国立競技場整備事業の公募について  
（2）その他
4. 出席者：村上周三委員長、秋山哲一委員、工藤和美委員、香山壽夫委員、深尾精一委員、
5. 議事要旨
  - 審議前に、本日10時から村上委員長が遠藤オリンピック・パラリンピック担当大臣を訪問し、新国立競技場整備計画再検討のための関係閣僚会議の基本的考え方に沿って要求水準書を検討していること、コスト上限に関する内閣官房の検討が概ね妥当と考えられることについて報告した旨、村上委員長より報告があった。

### <議題1>

- 内閣官房から、「業務要求水準書」のうち、整備計画と関連する部分（第3章第2節）について、説明を行った。
- 委員から、「開会式に間に合うように」という記述には違和感がある。「大会開催に間に合う」というような表現とした方がよいとの発言があり、事務局から、ご指摘の趣旨で改めると回答した。さらに、事務局から、今後も些細な変更、平仄を合わせるための文言修正等が生じる可能性があるため、委員長と相談して修正することとしたいとの発言があった。
- 事務局から、「求める技術提案の課題と審査方法」について、前回委員会以降の委員との意見交換を踏まえた修正案を説明した。
- 委員から、コスト・工期が合計点の過半を占めることになると、バランスが如何なものかと考えていた。本日の修正案であれば、合計140点に対し、コスト・工期が70点となり、コスト・工期の重要性を伝えつつ、バランスも保たれてい

ると考えるとの発言があった。

- 事務局から、技術提案提出以降の進め方について、前回委員会以降の委員との意見交換を踏まえた修正案を説明した。
- 委員から、技術対話を行ったとしても、提出された案を改善することは避けられているという理解でよいかとの質問があり、事務局から、その通りであると回答した。また、事務局から、国土交通省のガイドラインに沿うと、改善もあり得るのであるが、今回は、それは良くないという委員会の意見であるので、技術的事項の確認にとどめる方式としているとの発言があった。
- 委員から、技術的事項の確認で追加資料等を求め、その後、ヒアリングを行い、審査・評価するということがよいかとの質問があり、事務局から、その通りと回答した。
- 委員から、審査の公平性を欠くような方式は好ましくなく、改善を行って順番が逆転することもあり得るのであれば、今回は改善することは行わない方がよいとの発言があった。
- 国土交通省では、技術対話は何度か行っているのかとの質問があり、事務局から、国土交通省の土木工事の発注では技術対話を行う事例は見受けられるが、建築工事の事例はないと思われると回答した。
- 「業務要求水準書」及び「求める技術提案の課題と審査方法」について、委員会として了承することとし、今後の修正は委員長に一任することとした。

#### <議題2>

- 内閣官房から、コスト上限の検討に関し、座席空調の設置の有無の場合の影響について説明を行った。
- 委員から、要求水準書のうち、座席空調がなくなる場合、熱中症対策を記載するということが理解できるが、熱中症対策は医療の問題であるため、建築の工夫のみでの解決は困難であるとの発言があり、事務局より、趣旨を踏まえた記述とすると回答した。

- 内閣官房から、場合によって座席空調が取りやめとなった場合には、委員長に報告のうえ、要求水準の最終決定を行うことをご了解を頂きたいとの発言があった。
- 内閣官房から、完成期限は平成32年4月末としつつ、工期短縮の目標を平成32年1月末とすることについて説明を行った。
- 委員から、土曜日の工事など、工事時間はどのように設定しているのかとの質問に対して、事務局から、現在実施している解体工事は土曜日も行っており、本公募に際しても、土曜日を含む朝8時から夕方6時までの工事時間を設定していると回答した。
- 委員から、競技場はシンプルな設計とすれば、建築物としては単純なものであり、複雑な内装も通常は想定されないとの発言があった。
- 委員から、旧計画も、単純化すれば結局7階建ての鉄骨造建築物を造ることと同じであり、複雑な曲線を使えば工事は困難となるが、単純なデザインとすれば工期短縮も事業費縮減も、いずれも可能となると思われるとの発言があった。
- 委員から、旧計画は巨大な屋内スタジアムであったと思う。一般的なスタジアムのように屋外競技場として、雨が降れば濡れるし、夏は暑く、冬は寒い、ということでも問題ないと思うとの発言があった。
- 委員から、熱中症対策についても、現在北京で開催されている世界陸上がそうであるように、昼間ではなく、朝又は夜の涼しい時間帯に競技を行えば、熱中症の問題をかなりクリアできると思うとの発言があった。